

10月29日

災害時の消防活動を強化 消防団輸送車運用開始式を開催



安全を祈願する徳永町長

消防団輸送車運用開始式が10月29日、弟子屈消防署で関係者など25人が参加して行われました。

運用していた輸送車の経年劣化などから、新たに導入された29人乗りのバスで、災害時の消防団員の輸送などに運用されます。

釧路北部消防事務組合長・徳永町長は「災害時のすみやかな輸送は非常に重要。適切な運用をしていきたい」と話していました。また同日、弟子屈消防後援会から、輸送車の付属品について寄贈があり、その寄贈受贈式も行われました。

10月29日

地域の役に立ちたい クニオカ工業と辻谷建設の皆さんが支障木を伐採



道路脇の支障木を伐採する皆さん

辻谷建設(株)(辻谷智之代表取締役)、クニオカ工業(株)(今誠代表取締役)の皆さんが10月29日、町道美留和石狩別線の道路脇の300mで、支障木の伐採を行いました。地域に貢献したいとの思いからはじめられたもので、今年で5年目になります。

今年クニオカ工業から3人、辻谷建設から6人が参加し、チェーンソーやのこぎりなどを使い、手際よく木を伐採していました。

今年クニオカ工業から3人、辻谷建設から6人が参加し、チェーンソーやのこぎりなどを使い、手際よく木を伐採していました。

10月20日

屈斜路湖のためにできることを KFCが和琴半島で清掃活動



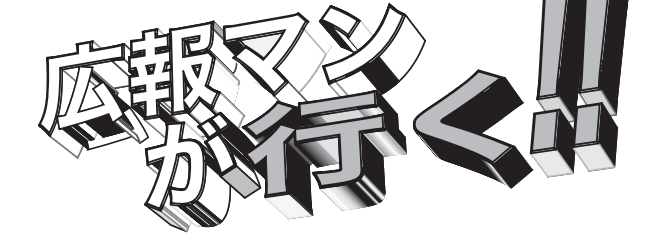
皆さんで協力して清掃活動

KFC(屈斜路フィッシングクラブ・北林勉会長)の会員の皆さんが10月20日、屈斜路湖の釣り場ポイントを回り清掃活動を行いました。

同活動は今年で3回目で、20人が参加。屈斜路湖での釣りを愛する道内外の会員が駆けつけ、空き缶などのごみを回収し、清掃活動を行いました。

会員の皆さんは「屈斜路湖でいつまでも釣りができるよう、釣り人である自分たちがフィールドの環境保全に努めていきたい」と話していました。

カメラスケッチ



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかかけます。お気軽にご連絡ください。



まちづくり政策課広報統計係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 3 (課直通)

11月1日

交通事故防止を願う「ひまわり絆プロジェクト」 弟子屈小児童がヒマワリの種を採取



大きくなったヒマワリを引き抜く児童

弟子屈警察署が今年度から参加している「ひまわりの絆プロジェクト」の一環として弟子屈小学校4年生の児童26人が11月1日、弟子屈警察署内のヒマワリ畑で種の採取を行いました。

このプロジェクトは、事故で亡くなった当時4歳の男児が育てていたヒマワリの種を受け継いで育て、交通安全の願いを全国に広める活動で、6月に児童たちが植え、大きく成長したヒマワリを刈り取り、種を採取しました。採取した種は、来年植えられ、交通安全の願いをさらに広めていく予定です。

10月29日

てしかがの未来の中心市街地づくり 第4回中心市街地再構築全体構想町民会議を開催



さまざまな意見が

中心市街地再構築全体構想町民会議(今井慎也委員長)の第4回会議が10月29日、町公民館で開催されました。

会議では第3回までの「町の将来像」「中心市街地の将来像」「来てもらいたい人」「なされているとよい活動」「こども・若者・子育て世代にとって居心地のよい場所」「お金の使われ方」などのワークショップで各委員から出された意見を踏まえて、町においても老朽化が進む公共施設の集約も視野に入れ、具体的にどのような施設整備が望ましいかについて意見交換が行われました。

10月28日～11月8日

枯れた庭木や流木などで制作 弟子屈郵便局で石橋和美作品展を開催



見事な作品を前に

町内在住の石橋和美さんの作品展が、10月28日～11月8日にかけて、弟子屈郵便局内のお客様ロビーで開催されました。

石橋さんの作品は、ご自身の自宅の周辺で集めた枯れ枝や、河辺や浜辺にあった流木などを使い置物として仕上げたもの。15年以上前から長年作り続けられていて、今年は24個の作品が展示されました。

石橋さんは「ものづくりの楽しさを味わいながら、今まで千数点を作ってきました。今後も体力が続く限り続けていきたい」と話していました。

10月21日

アイヌの人々の誇りが尊重される社会に アイヌ文化等振興事業計画策定町民委員会を開催



あいさつする徳永町長

アイヌ文化等振興事業計画策定町民委員会(竹森英彦委員長)の第1回会議が10月21日、役場委員会室で開催されました。

同委員会は、本年5月に施行された「アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための施策の推進に関する法律」に基づき、アイヌの人々の誇りが尊重される社会の実現のための取り組みについて協議するために開催されました。会議では、これまでの文化政策、福祉政策に加え、地域振興・地方創生、産業、観光振興、環境保全、国際交流など、幅広い視点によるアイヌ政策推進交付金制度などの活用について方向性が協議されました。

11月10日

多くの参加者が自慢の芸を披露 チャリティー職域かくし芸大会を開催



ベンチャーズを演奏

弟子屈町厚生保護女性会主催の第11回チャリティー職域かくし芸「芸能の集い」が11月10日、町社会老人福祉センターで行われました。

20以上の団体・個人が参加し、それぞれこの日のために用意した芸を披露。歌や踊り、太鼓、寸劇、バンド演奏、ものまねなど、さまざまな演目で訪れた方々を楽しませました。

大人の発表が多い中、認定こども園ましゅうや川湯ダンスクラブなどから子どもたちも参加。大会をいっそう盛り上げました。

11月9日～10日

特産品を味わって！ 東京都玉川大学「コスモス祭」に出展



特産品求めて多くの人が

東京都玉川大学の「コスモス祭」が11月9～10日に行われ、当町も特産品などを販売するブースを出展しました。

平成27年5月に包括連携協定を締結し、大学との連携で行われているもので、今回で5回目。ブースでは、弟子屈産のジャガイモ3種とタマネギなどの農産物のほか、摩周そば乾麺、摩周湖の夕日(マンガー)や弟子屈産いちごのお菓子、ジャムなどを販売。

会場には学生をはじめとした多くの方が訪れ、賑わいを見せていました。

10月29日

登山道も冬支度 藻琴山登山道ロープ撤去作業



屏風岩周辺でロープを撤去

川湯エコミュージアムセンターを拠点に活動を行っている摩周・屈斜路パークボランティア(金井秀明会長)の皆さんが、10月29日に藻琴山登山道のロープ撤去を行いました。

ロープは危険箇所の周知や、希少植物の保護のために例年6月初旬頃に張られ、積雪前に撤去されます。

この日は強風の中での作業となりましたが、手際よく頂上や屏風岩周辺など7カ所全てのロープ回収しました。来年のロープ張りは、希少動物が開花する前の5月下旬を行う予定です。

10月27日

美しい紅葉や名木を巡る 秋の名木ツアーを開催！



ガイドの説明に聞き入る皆さん

町と根釧西部森林管理署の共催で10月27日、秋の名木ツアーが行われ、町内外から23人が参加しました。

今回のツアーは市街地のモミジなど名木4本の観賞のほか、屈斜路湖沿いの旧道や、川湯エコミュージアムセンターのアカエゾマツの森を散策。落ち葉や紅葉の観察など「おとなの遠足」を楽しみました。北海道認定木育マイスターで、てしかが自然学校代表の萩原寛暢さんが務めるガイドに、参加者の皆さんは熱心に聞き入り、来年も参加したいとの声が多く寄せられるなど大好評を博しました。